## 2012年7月24日(火曜日)の東京新聞に 弊社社長の記事が掲載されました。

TI 京 第斤 层界

2012年(平成24年)7月24日(火曜日)

地域の情報

提言

の到来に、心を引き締め

いよいよ本格的な暑さ

26

## 秋元 義彦 アキモト社長

体験し、 と社員が嘆いたことが記 体力の限界を感じた」 「もう嫌だ」

います。あの計画停電を 社は電気に敏感になって ています。 「三・一一」以降、

が培ってきたアイデアを

とした工夫や、先輩たち

うイースト菌は非常に素 再確認しています。 はできますが、弊社の扱 直な性格で、温度や湿度 へ間はある程度の我慢

が必要なのです。

暑さ対策

策ばかりでなく、ちょっ 資金を投入しての対応 に敏感に反応し、 てしまうのです しません。つまり、ある 定の環境では活動しま

が重要ですが、それ以外

乾く時の「気化

パンを製造できなくなっ すが、寒すぎたり暑すぎ 刀が落ちてしまい、良い にりすると、急激に活動

のところはスポットエア ある「打ち水」です。 コンで対処しています。 戸水を、工場の屋根 つかのチャレンジを始め った井戸があります。井 初めに省エネの代表で さて、高温対策でいく 弊社には十数年前に掘 巻き」。そして、大型の り下がります。先人の知 恵に感謝です。 熱」で周辺の気温はかな 超小型の扇風機を、場所 扇風機や、首からかける た「冷熱ジェル入りの首 次に、最近はやってき

一面 に応じて利用していま

近い将来、自然エネル 資金を投入して社内全 小まめなスイッチ切

## よって、社員の職場環

境への気配りも重要です 程は、作業室全体の空調 が、同時に、生き物のイ ースト菌にも十分な配慮 パン生地を製造する工 設置を始めました。 にまくスプリンクラーの に上げ、熱くなった屋根 うポンプで井戸水を屋上 ごとに、少量の電気を使 晴天の日中、一定時間

面にまきます。水が蒸

挑戦したいものです。 ギーを利用した発電にも りに気配りしています。 社はできるだけ部分空調 を温めてしまうので、 空調」は理想でしょう 体を冷やす「セントラル が、社内が冷えた分周り